



ТЕАТЪР 199 „ВАЛЕНТИН СТОЙЧЕВ“

СЪВМЕСТНО С ТЕАТЪР

ГООГОРИ / 作

Крего

「外套」

”The Overcoat”

10月21日・22日 (対象年齢：16歳より)

с участието на:

НИНА ДИМИТРОВА  
СТЕЛИАН РАДЕВ

脚色/ニーナ・デミトローヴァ  
ヴァジл ワシエフ・ズエカ  
スヴェトザール・ガゴフ  
演出/ニーナ・デミトローヴァ  
衣装/マーヤ・ペロトローヴァ  
出演/ニーナ・デミトローヴァ  
ステリヤン・ラデフ

2014年	10	月
日・曜	21	22
開演	(火)	(水)
15:30	◆	◆
19:00	◆	◆

※開場はそれぞれ30分前

ブルガリアより来日

CREDO THEATRE

クレドシアター

ТЕАТЪР Крего

全編日本語上演!

★初演以来、世界15ヶ国(9ヶ国語)で上演され、  
「欧州劇場史の奇跡」とまで評された秀作 2プログラム連続上演!

ТЕАТЪР 199 „ВАЛЕНТИН СТОЙЧЕВ“ и ТЕАТЪР

Крего

Андерセン / 作

お父さんのすることは  
いつもよし

”Daddy’s always right”

10月24日～26日 (対象年齢：10歳より)

с участието на:

НИНА ДИМИТРОВА  
ДИМИТР НЕСТОРОВ

脚色/ニーナ・デミトローヴァ  
ユーリ・ダチェフ  
演出/ニーナ・デミトローヴァ  
衣装/マーヤ・ペロトローヴァ  
出演/ニーナ・デミトローヴァ  
デミタル・ネストロフ

2014年	10	月	
日・曜	24	25	26
開演	(金)	(土)	(日)
11:00			●
14:00		●	
19:00	★		

●…お父さん  
★…お父さん+アフタートーク  
※開場はそれぞれ30分前



料金/前売 4200円(当日 4700円) 友の会 4000円  
18歳以下 3200円 ペアチケット 7500円  
2作品通し券 8000円 (すべて税込み料金・全自由席)

★24日アフタートーク★

「ブルガリア演劇教育から学ぶ!

～ヨーロッパ現代演劇と古典文学～

講師：ニーナ・デミトローヴァ/ステリヤン・ラデフ/デミタル・ネストロフ

【お申込み・お問合せ・会場】プーク人形劇場

☎ 03-3379-0234 ✉ theatre@puk.jp

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-12-3

HP <http://www.puk.jp>

人形劇のようで人形劇ではない!!  
 コメディじゃない!! でも笑わずにはいられない!!

クレドの魔術にかかると、舞台装置までもが物を語りだす!

クレド シアター (ブルガリア・ソフィア)

主宰ニーナ・デミトローヴァ。クレドは多様な表現手段で芸術創造を行う劇団である。道化師、コメディ、人形劇、パントマイムなど様々な要素を融合させ、観客の心を驚掴みにする。

「観客は、対等に共演者となり一体感・共感を味わってもらいたい」との思いから、公演先の言語での上演にこだわる。彼らは多言語に堪能というわけではないが、その準備に惜しみなく時間を費やし、台詞を「音」で覚え込む。彼らは今回、日本語での上演に挑む。

ニーナ・デミトローヴァ女史は、ブルガリア国立演劇映画芸術学院卒業。現在は教授。クレド シアター立ち上げと同時に発表した「The Overcoat」そして「Daddy's always right」の演出、主演を務め、世界各国の演劇界、演劇祭から注目、賞賛されている。

「The Overcoat」 『外套』 10月21日(火)・22日(水)

ペテルスブルグの街角に夜な夜な、オーバーコートを剥ぎ取る幽霊が出現する。町は恐怖におののき、知事は幽霊を捕まえよ!と、手配を出す始末。

ある夜、幽霊は野良犬退治の罠にかかるが、幽霊を捕まえた二人の作業員は、幽霊の生前の話を聞き、心打たれ、幽霊を取り逃がしてしまいます。

知事の命令を破った罪で、彼ら中年の作業員は裁判にかけられ、自らの弁明をする。そこで二人は幽霊となった、平凡で哀れな下級役人の、悲しい物語を語り始める…。

クレドの確かな演技力と魔術で、ゴーゴリ作品を軽やかで、明るく楽しい舞台と昇華させます。(上演時間80分)



「Daddy's always right」  
 『お父さんのすることはいつもよし』 10月24日(金)～26日(日)

森の小さな家に住んでいるお百姓さん夫婦は、とても仲良し。

ある日、妻の提案で飼っていた馬をもっと役に立つものに取り替えようと夫は市場へと出かけるが、途中に出会った牛が気に入りに、馬と交換。その後もヤギ、ガチョウ、めんどりと、どんどん値打ちのないものに交換し、ついには袋いっぱい腐ったリンゴと取り替えてしまい…。

前述の「外套」と打って変わり、白一色のシンプルな舞台に、真っ白な老夫婦が登場し、素敵な物語が始まります。(上演時間80分)

～観客の声(過去の上演より)～

◆驚くほどの遊び心と、豊かで多彩な表現、すばらしい舞台。とにかくびっくりしました。  
 (「外套」八雲国際演劇祭 観客 大阪府)

◆シンプルで幾重にも姿を変える舞台装置!この作品は人形劇の新しい扉を開ける!!  
 (「外套」ブルガリアフェス 観客 東京都)

◆子ども達と一緒に観ました。白一色のシンプルな舞台から語りかける愛することの素晴らしさが伝わって、とても満たされた気持ちになりました。  
 (「お父さん～」観客 山口県)

★世界各国の演劇フェスティバルが絶賛!英国エジンバラ国際演劇祭で最高の栄誉を受けた作品がプーク人形劇場にやってきます。

★24日アフタートーク「ブルガリア演劇教育から学ぶ!～ヨーロッパ現代演劇と古典文学～」  
 講師:ニーナ・デミトローヴァ/ステリヤン・ラデフ/デミタル・ネストロフ

公演スケジュール

「The Overcoat (外套)」

◆10月21日(火) 開演19時  
 22日(水) 開演15時30分/19時



外套

「Daddy's always right」

(お父さんのすることはいつもよし)

●10月24日(金) 開演19時 + ★アフタートーク  
 25日(土) 開演14時  
 26日(日) 開演11時



お父さん

※日によって作品が異なります。ご注意ください。



【お申込み・お問合せ・会場】 プーク人形劇場  
 ☎ 03-3379-0234 ✉ theatre@puk.jp  
 ☎ 151-0053 東京都渋谷区代々木2-12-3  
 HP http://www.puk.jp/